

2026年6月10日

## 電通、ロボティクス領域における研究・開発およびコミュニケーションデザインを推進する「Robotics Media Unit」を始動

—フィジカル AI 時代を見据え、企業のロボティクス活用と社会実装を支援—

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：松本 千里）は、ロボティクス領域における研究・開発およびコミュニケーションデザインを推進する新チーム「Robotics Media Unit」を本日より始動します。ロボットを新たな「表現媒体」として捉え、ロボットと人との新しい関係性やコミュニケーションのあり方について研究するとともに、企業の PoC（概念実証）支援、ロボットを活用した広告・イベント施策、ロボットサービスのコミュニケーションなど、企業によるロボティクス活用や社会実装を支援します。

# ROBOTICS MEDIA UNIT

近年、AI 技術の進展により、実世界で身体を持って動作するロボットと AI を組み合わせた「フィジカル AI」への関心が高まる一方で、ロボットの社会実装に向けては、単なる機能開発にとどまらず、人との円滑なコミュニケーションや体験設計が重要な課題となっています。

当社はこうした課題に着眼し、国内電通グループ横断のクリエイティブ R&D 組織である「Dentsu Lab Tokyo」\*内に、社会実装を推進する「Robotics Media Unit」を発足させることにしました。本チームには、10年以上にわたるロボティクス分野での実務・研究経験を持つメンバーに加え、エンジニアや研究者、クリエイティブ R&D の専門人財が参加しています。

## ■Robotics Media Unit の主な支援内容

### ① ロボットの社会実装におけるコミュニケーションデザインの支援

ロボットや AI エージェントを社会実装する際の新しい顧客接点・体験設計・コミュニケーション開発を支援します。ロボットそのものの機能設計だけでなく、人との自然なコミュニケーションや体験設計、ユーザーとの接点づくりまで含めてサポートします。

### ② PoC・R&D 段階におけるアイディエーション／フィジビリティスタディ支援

ロボティクス推進における PoC や研究開発において、アイデア検討から実現可能性の検証、プロトタイプ制作までを支援します。また、テクノロジーとクリエイティビティ双方の知見を生かして、企業の新規事業・新サービス開発に伴走します。

# ROBOTICS MEDIA UNIT



## ■ロボットを活用した新しい体験の提供

ロボットを活用した広告・イベント・プロモーション活動を支援します。既存ロボットの活用に加え、オリジナルロボットやキャラクターロボットの企画立案から設計・開発・演出まで、一気通貫で対応します。

今後も当社は、ロボティクスとコミュニケーションデザインの融合を通じて、新しい価値の創出に取り組んでまいります。

※ Dentsu Lab Tokyo (デンツウラボトウキョー) は、研究・企画・開発が一体となった国内電通グループ横断のクリエイティブの R&D 組織です。「PLAYFUL SOLUTION」「おもいもよらない。」をフィロソフィーとしながら、デジタルテクノロジーとアイデアによって、人の心を動かす表現開発や、いま世の中が求める社会の課題解決を実践しています。

公式サイト：<https://dentsulab.tokyo/>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部  
河南、長谷川、内田  
Email : [koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 Dentsu Lab Tokyo Robotics Media Unit  
和泉、斧  
Email : [dentsu-lab-tokyo@dentsu.co.jp](mailto:dentsu-lab-tokyo@dentsu.co.jp)